



ニ之江の子

令和 6 年 9 月 30 日
江戸川区立ニ之江小学校
第 6 号

ニ之江小の誇り

校長 大石 吉郎

暑さ寒さも彼岸まで、と言われるように秋分の日を境に、ようやく秋らしさを感じるようになりました。

10月5日(土)は、新校舎になって初めての運動会です。子供たちが夢中になって取り組めるように、紅白対抗戦を復活させました。その対抗戦がさらに盛り上がるようにと、PTA 会長 酒井 麻子 様のご尽力により、優勝旗、準優勝盾、トロフィーを寄贈していただきました。また、第15代 PTA 会長 牛田 教隆 様から、テント二張りを寄贈していただきました。心より感謝申し上げます。

子供たちの頑張っている姿に、保護者、地域の皆様の温かい拍手と声援をどうぞよろしくお願いいたします。

パラ競泳女子銅メダリスト、辻内彩野選手が本校を訪れメダル獲得などについてお話をしていただきました。子供たちが辻内選手にあてた手紙を紹介します。(一部抜粋) これからも、さらなるご活躍をみんなで応援していきます。

- ・視力が低下していく中、3年間練習してクラスなどいろいろなことが変わったのにもかかわらず銅メダルを取る姿に私はとても感動しました。メダルを見せに来てくれたり、大きな大会の前に来てくれたりすることで私たちも励まされます。私も辻内選手のように努力をし続けてあきらめないで夢を追いつづけます。今日はありがとうございました。そして、銅メダルおめでとうございます。
- ・学校のテレビで見ました。すごくはやくてびっくりしました。これからもがんばってください。疲れていると思うので、しっかり体を休めてください。本当に銅メダルおめでとうございます。
- ・みんなで、パラリンピックの予選と決勝を見ました。予選は2位ですごいなと、思いました。目が見えにくいのに、銅メダルを取ってみんなとても喜びました。次のパラリンピックもがんばってください。
- ・テレビやニュースでみたときは本当に感動しました。辻内選手の表彰台での笑顔を見て私もとってもうれしかったです。辻内選手はすごく優しく、辻内選手への応援の言葉を言うさいに、緊張している私に笑顔で聞いてくれて応援の言葉を最後までしっかり言うことができました。辻内選手には感謝の言葉でいっぱいです。
- ・パリパラリンピックでの銅メダルおめでとうございます。私たちの学校の卒業生にパラリンピックのメダリストがいることは、私たちにとって誇りだと思います。私が一番心に残ったのは、リレーのときの辻内選手です。インタビューに答えられているときの「しんどいけれど仲間の思いを引き継げるように最後まであきらめずに泳いだ」という言葉が心にひびきました。レースのときもその思いが泳ぎにじんじんと沁み、メダルを取ることができなくても辻内選手のがんばりは金メダルだと私は思います。
- ・障害クラスが上がっていて、とても心配したけど、メダルをもらっていてとてもすごいなと思いました。私も辻内選手のみたいたいになりたくて習い事の水泳をがんばっています。いつか辻内選手みたいにはやく泳げるようになりたいです。
- ・自由形の決勝戦を見て、思ったことは、ゴールをしてからほかの選手とハグしている姿を見てすてきだなと思いました。
- ・表彰式後のインタビューの「3年間やってきたことが報われたのかなと思っています。」という部分で努力すれば結果が出るんだなと思い私もきちんと今できることをし、この先未来にむけてがんばっていこうと思いました。

